

若潮丸の平成 29 年台風 21 号への対応

平成 30 年 10 月 26 日

若潮丸船長 中松英也

1 台風の概要等

(1) 台風 21 号の生涯

- ・ 10 月 16 日 0300 (JST) カロリン諸島沖にて「**台風 21 号**」となる。
- ・ 20 日「**超大型**」となる。
- ・ 20 日 2100「**非常に強い**」勢力となる。
- ・ 23 日 0300 静岡県掛川市付近に**上陸**。
- ・ 23 日 0900 福島県沖にて**温帯低気圧**となる。

(2) 若潮丸への影響

- ・ 若潮丸が停泊する臨海実習場の風向風速の記録では、北東～北の風が以下のとおり。

平均風速が 20m/s 以上	: 22 日 2000～2400	(4 時間)
最大瞬間風速が 20m/s 以上	: 22 日 1200～23 日 0800	(20 時間)
最大瞬間風速が 30m/s 以上	: 22 日 1900～23 日 0500	(10 時間)
- ・ 岸壁は海面より 2m 高いが常時波が打ち上げていた。
- ・ 若潮丸は激しく翻弄された。

2 若潮丸の対応

(1) 港長からの勧告

- ・ 10 月 22 日 1200 伏木富山港長から「**警戒勧告**」発出
- ・ 10 月 22 日 1800 伏木富山港長から「**避難勧告**」発出

(2) 事前の対応

- ・ 通常前後部とも 3 本ずつ (計 6 本) の**係留索を倍の 6 本ずつ** (計 12 本)
- ・ 22 日は当直 1 名が在船しており、予め乗組員には非常呼集に備えて**自宅待機**を周知。

(3) 体制の強化

- ・ 1430 **非常呼集**
- ・ 1600 **船内電源に切替え、主機関 S/B、両スラスタ一起動、両舷錨 S/B のうえ、通常の航海当直体制として船橋及び機関室で当直開始。両スラスタを常時使用。**